

11 江古田地区 76 江原町町会

歴代会長

初代	堀野 良之助	七代	堀野 清
二代	田原 常武	八代	石井 茂巳
三代	鈴木 耕一	九代	林 四男末
四代	福山 熊雄	十代	堀野 雅章
五代	堀野 良之助	十一代	堀野 直一
六代	板倉 政治		

町会の沿革

江原町町会の区域は、中野区の北部に位置し、東西に走る目白通りを南北に挟み、都営地下鉄 12 号線（大江戸線）の新江古田駅があります。駅前周辺を除いては大きな商店街もなく、緑に囲まれた閑静な住宅地です。区域内には、区立江原公園や区立の江原小学校、第七中学校の一部学区域を含んでいます。

昭和 2 年 2 月に、江古田不動産で近代的な町会組織を目指した「江和会」が創設されました。この組織が母体となり、現在に引き継がれてきました。この間、町名変更などで紆余曲折がありましたが、昭和 55 年 6 月に、「江原町町会」の名称になりました。

会の目的は、会員相互の親睦を図り、住み良い地域社会の形成および維持にあります。会員の世帯数は、おおむね 1,300 余を有し、会長をはじめ 19 人の役員が会や事業の運営にあたっています。

町会の活動

主な事業としては、3 月の餅つき大会、7 月の納涼盆踊り大会、9 月の敬老祝品の配付、11 月の日帰りバス旅行です。また、防犯部、防災部、交通部、青少年部、女性部などがそれぞれの事業展開を図っています。

この他に、区（防災・清掃など）、学校、消防、警察などの行政機関と連携・協働し住民の安全・安心につながる事業を実施しています。さらに、地元のボランティア団体、青少年団体、福祉団体などとも連携を図っています。

近年、加入者がゆるやかに低減していることに加え、役員の高齢化と辞任により円滑な事業の実施が難しくなっています。どのように会員や役員を増やしていくのか、日々模索しているところです。

これからも、地元の祭りや餅つきやなどを通して顔と顔の見える関係を構築し、設立の趣旨でもある「住み良い地域づくり」に向けて邁進していきます。

江原公園での盆踊り風景の一コマ

